

委員会、部会等

- 東京都アレルギー対策検討委員会(2回)
- アレルギー疾患対策検討部会(3回)、アレルギー疾患医療拠点病院等検討部会(1回)
- 東京都アレルギー疾患医療拠点病院等連絡会(2回)

各種調査

- 令和元年度 アレルギー疾患のある子供に関する調査結果(令和2年10月報道発表)
(アレルギー疾患に関する施設調査及び3歳児全都調査)
- 令和2年度 アレルギー疾患医療実態調査

人材育成(関係者向け)

○行政・社会福祉施設等関係機関職員向け研修

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、WEB形式に変更等し、事業を実施

事業名	対象	日程	内容	再生回数 (R3.2.25現在)
子供の アレルギー疾患 に関する 相談実務研修、 ぜん息・ 食物アレルギー 緊急時対応研修	保育所職員、 幼稚園教職員、 学童保育職員、 児童養護施設職員、 児童相談所職員、 区市町村主管課職員、 都保健所等の職員等	令和2年12月11日～ 令和3年3月31日まで	「アトピー性皮膚炎の知識と対応」 福家辰樹(医師) 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 医長	1,725回 (参考:昨年度 参加者338人)
		令和3年1月5日～ 令和3年3月31日まで	・「食物アレルギーの基礎知識と保育場面でのアレルギー 対応について」 増田敬(医師) 同愛記念病院小児アレルギーセンターセンター長 ・「エピペン®の使い方」 同愛記念病院 小児アレルギーエドゥケーター	1,883回 (参考:昨年度 参加者451人)
		令和2年11月24日～ 令和3年3月31日まで	「小児ぜん息の基礎知識と対応」 前田麻由(医師) 昭和大学医学部小児科学講座 助教	1,867回 (参考:昨年度 参加者321人)
成人の アレルギー疾患 に関する 相談実務研修	訪問看護ステーション職員、 介護保険・福祉施設職員、 企業の健康管理担当者、 薬局職員、 区市町村主管課職員、 都保健所等の職員等	令和3年1月5日～ 令和3年3月31日まで	「成人のぜん息・食物アレルギーについて」 鈴木慎太郎(医師) 昭和大学医学部内科学講座・呼吸器アレルギー 内科学部門 講師	396回 (参考:昨年度 参加者191人)

人材育成(医療従事者向け)

○アレルギー疾患治療医療従事者専門研修(拠点病院委託事業)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、WEB形式に変更等し、事業を実施

対象	主催	日程	内容
都内でアレルギー疾患医療を行っている医師等	国立成育医療研究センター	令和3年2月4日	<p>テーマ:①「思春期における花粉-食物アレルギー症候群Pollen-food allergy syndrome(PFAS):成育コホート研究」 講師 :木口智之(国立成育医療研究センターアレルギーセンター)</p> <p>テーマ②:「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2020(JPGL2020)改訂ポイント:ミニ講座」 講師 :福家辰樹(国立成育医療研究センターアレルギーセンター)</p> <p>テーマ:③「小児から成人への移行期における治療や対策が大切な皮膚アレルギー疾患について」 講師 :藤田医科大学 矢上晶子</p> <p>参加者:約230名</p>
	東京慈恵会医科大学附属病院	令和3年3月31日(予定)	<p>テーマ:①15分でわかるアレルギー診療ガイドラインの要点 講師 :勝沼俊雄(東京慈恵会医科大学附属病院小児科) 沼田尊功(東京慈恵会医科大学附属病院呼吸器内科)</p> <p>テーマ:②アレルギー性鼻炎診療の要点と実技指導(点鼻) 講師 :遠藤朝則(東京慈恵会医科大学附属病院耳鼻咽喉科) 一杉俊輔(東京慈恵会医科大学附属病院薬剤部)</p> <p>テーマ:③アトピー性皮膚炎のABCと落とし穴 講師 :石氏陽三(東京慈恵会医科大学附属院皮膚科) 土屋沙紀(東京慈恵会医科大学附属病院看護部)</p>

人材育成(医療従事者向け)

○アレルギー疾患治療医療従事者専門研修(拠点病院委託事業)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、WEB形式に変更等し、事業を実施

対象	主催	日程	内容
【令和2年度 新規事業】 都内で アレルギー 疾患医療を 行っている 看護師、 薬剤師、 栄養士等 医療従事者	東京都立 小児総合 医療センター	令和3年 1月20日	<p>テーマ:「コロナ時代におけるアレルギー診療の新たな医療連携の可能性」 司会者と講師(演者)とのディスカッション等</p> <p>講師 : I エキスパートからの提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ①益子育代 (なすのがはらクリニック看護師、小児アレルギーエドゥケーター) ②長谷川実穂 (昭和大学医学部小児科学講座 管理栄養士、小児アレルギーエドゥケーター) ③上荷裕広 (すずらん調剤薬局 管理薬剤師、小児アレルギーエドゥケーター) <p>II 特別講演 獨協医科大学小児科学主任教授 吉原重美(医師)</p> <p>参加者:約100名</p>
	東京医科 歯科大学 医学部 附属病院	令和3年 3月19日 (予定)	<p>テーマ:①「成人型喘息」</p> <p>講師 :みなと赤十字病院 アレルギー科部長 中村</p> <p>テーマ:②知っておきたい!アレルギー最新情報</p> <p>講師 :千貫 祐子(島根大学医学部皮膚科)</p>

○ぜん息等り患児の重症化防止事業(東京都医師会委託事業)

対 象:医師会会員及び看護師、保育所等の看護師・栄養士等

日程・場所:【区部】令和2年12月19日(土)15:00~16:30 東京都医師会館 (参加者:14名)

【多摩部】令和2年11月7日(土)15:00~16:30 吉祥寺第一ホテル (参加者:8名)

内 容: 実地臨床における新型コロナウイルス感染症と気管支喘息

講 師: 日本赤十字社医療センター呼吸器内科部長 出雲雄大

普及啓発(都民向けアレルギー講演会)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、WEB形式に変更等し、事業を実施

対象:アレルギー疾患のある患者や家族、保健医療・福祉・教育等関係者、区市町村職員、その他関心のある都民 等

日程:令和2年12月17日から令和3年3月末まで(WEB配信)

内容:「アトピー性皮膚炎の基礎知識と最新のトピックス～アトピー性皮膚炎と上手に付き合うために～」

講師:福家辰樹(医師) 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
アレルギーセンター 総合アレルギー科 医長

再生回数:2, 311回(R3.2.25現在) (参考:昨年度参加者109人)

- 1.アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの関係、およびアレルギーの発症予防について



普及啓発(東京都アレルギー情報navi.等)

○都民、患者、家族等向け情報

・「アレルギーかな?と思ったら」

困っている症状(湿疹、鼻水、咳等)、考えられるアレルギー疾患、受診の準備等、医療機関にかかるための情報を掲載

・「効果的な治療のために」

治療中の不安や困りごとなどの状況について紹介

・学会等、関連するアレルギー情報の掲載

・飲食事業者向け講習会のWEB配信

・飲食事業者向けリーフレット

「食物アレルギー対策に取り組みましょう」の作成・配布

・東京都の花粉情報の掲載 等

○施設等関係者向け情報

・WEB研修動画の公開(15本)



普及啓発(東京都アレルギー情報navi.)

○医療関係者向け情報ページ

- ・講習会のお知らせ
拠点病院が開催する研修等について掲載
- ・アレルギー疾患医療拠点病院、専門病院情報
専門的医療を提供している東京都アレルギー疾患医療拠点病院、専門病院の検査・治療実績、連絡先等を掲載
- ・症例から学ぶアレルギー診療
診療や治療のポイントなどを症例から確認

●アトピー性皮膚炎(小児)

アトピー性皮膚炎 小児

スキンケア方法の改善で寛解が得られたアトピー性皮膚炎の13歳女児

犬塚祐介(国立成育医療研究センター総合アレルギー科)

監修
福家麻樹(国立成育医療研究センター総合アレルギー科医長)
成田雅美(東京都立小児総合医療センターアレルギー科医長)

都内の医療関係者(医師、看護師、薬剤師、栄養士等)の皆様へ

 東京都アレルギー情報navi.
Tokyo Allergy Portal Site

医療関係者向け 情報ページ開設



東京都アレルギー情報naviは、東京都福祉保健局によるアレルギー疾患に関する総合サイトです。
患者・家族の皆さまや施設・医療機関の方に、ぜん息、アトピー性皮膚炎、花粉症など
アレルギー疾患に関する基礎知識や対応・対策、緊急時対応についての正しい情報をお伝えしています。

医療関係者向け情報ページを開設したので
是非ご参照ください。

医療関係者向け情報ページ

講習会のお知らせ

- 講習会に参加したい方のために、開催情報を掲載
- 忙しくて参加できなかった方のために、講習会資料や動画を掲載

拠点病院、専門病院情報

- 専門的医療を提供している東京都アレルギー疾患医療拠点病院、専門病院について知りたい(検査・治療実績、連絡先等)。

症例から学ぶアレルギー診療

- 診療や治療のポイントを確認したい。

【アクセス方法】

- 1 WEBで検索
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/allergy>
- 2 サイト内の  医療関係者向け情報 をクリック

問合せ：東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 TEL.03-5320-4493

東京都アレルギー情報navi | WEBサイト



 東京都福祉保健局

 リサイクルマーク

研修動画を東京都アレルギー情報navi. に掲載

過去に開催した講習会

東京都アレルギー疾患医療拠点病院が開催したアレルギー疾患治療専門研修の資料や動画を掲載しています。

アレルギー疾患医療のスキルアップ ～明日からの診療に役立てよう～

- (1) 実施日
令和元年12月9日 (月曜日)
- (2) 場所
東京都立小児総合医療センター 1F 講堂フォレスト (東京都府中市武蔵台2-8-29)
- (3) 対象
都内においてアレルギー疾患医療を提供する医療機関に勤務する医療従事者 等
- (4) 内容
 - ① 小児アレルギー疾患医療のスキルアップ
 - 1) 子どもをとりまく施設関係者へのエビベン指導のポイント [動画はこちら](#)
山野織江・井上三奈枝 (都立小児総合医療センター 看護部 小児アレルギーエドゥケーター)
 - 2) 乳幼児の吸入療法 ～スプレーを用いた吸入手技を習得できた1歳6か月男児例～ [動画はこちら](#)
豊國賢治 (国立成育医療研究センター アレルギーセンター医師)
 - 3) 小児アトピー性皮膚炎治療のポイント
定平知江子 (都立小児総合医療センター 皮膚科医長)
 - ② 成人喘息の診療 ～ガイドラインに基づいて～ [動画はこちら](#)
村田研吾 (都立多摩総合医療センター 呼吸器・腫瘍内科医長)

講習会動画

子どもをとりまく施設関係者へのエビベン指導のポイント



乳幼児の吸入療法



成人喘息の診療



アレルギー疾患医療拠点病院、専門病院の情報を公開

[トップページ](#) > [医療関係者向け情報](#) > [医療機関情報](#) > [東京医科歯科大学医学部附属病院](#)

 シェアする

 ツイートする

 LINEで送る

東京慈恵会医科大学附属病院

最終更新日：令和2年3月27日 | 公開日：令和2年3月27日

講習会のお知らせ

指定病院情報

症例から学ぶアレルギー診療

● 病院概要

名称	東京慈恵会医科大学附属病院
所在地	東京都港区西新橋3-19-18
代表電話	03-3433-1111
東京都の指定する診療科	内科系 , 小児科系 , 皮膚科系 , 耳鼻咽喉科系
ホームページ	https://www.hosp.jikei.ac.jp/

診療科の情報

このページでは、東京都アレルギー疾患医療拠点病院及び専門病院として指定を受けた診療領域の情報を掲載しています。

内科系

①アレルギー疾患の検査・治療の状況

検査・治療		対応の可否	実施延数 令和1年
検査	呼気NO測定	可	1880件
	気道過敏性試験	可	0件
治療	舌下免疫療法	可	0人
	皮下免疫療法	不可	-
	生物学的製剤を用いた重症ぜん息の治療	可	588人
	生物学的製剤を用いた重症じんましの治療	可	0人
	気管支肺熱形成術	可	0人

令和2年度 アレルギー疾患対策事業 実績一覧

②疾病名別の診療実績（成人とは15歳以上を指します）

疾病名	診療の可否	新患者数（総数） 令和1年
気管支ぜん息（成人）	可	626人
職業アレルギー（成人）	可	0人
アスピリンぜん息（成人）	可	3人
難治性咳嗽（成人）	可	0人
アレルギー性気管支肺真菌症（成人）	可	0人
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（成人）	可	2人
アナフィラキシー（成人）	可	1人
食物依存性運動誘発アナフィラキシー（成人）	可	0人
食物アレルギー（成人）	可	6人
口腔アレルギー症候群（成人）	可	0人
薬物アレルギー（成人）	可	0人
昆虫アレルギー（成人）	可	0人
ラテックスアレルギー（成人）	可	1人
過敏性肺炎（成人）	可	0人
慢性好酸球性肺炎（成人）	可	1人

備考：新患者とは初診料算定患者を指します

③医療連携等に関する問合せ先

部署名	患者支援・医療連携センター
連絡先電話番号（直通）	03-3433-1111（内線5718）
受付時間	月 火 水 木 金 土 8:30～17:00
その他	休診日を除く

小児科系

①アレルギー疾患の検査・治療の状況

検査・治療		対応の可否	実施延数 令和1年
検査	食物経口負荷試験(運動誘発試験を含む)	可	77件
	呼吸機能検査	可	176件
	呼気NO測定	可	140件
	気道可逆性試験	可	30件
	運動誘発負荷試験(ぜん息)	可	0件
	気道過敏性試験	可	0件
治療	舌下免疫療法	可	1人
	皮下免疫療法	可	2人
	生物学的製剤を用いた重症ぜん息の治療	可	0人

令和2年度 アレルギー疾患対策事業 実績一覧

②疾病名別の診療実績（小児とは15歳未満を指します）

疾病名	診療の可否	新患者数（総数） 令和1年
気管支ぜん息（小児）	可	27人
アトピー性皮膚炎（小児）	可	75人
じんましん（小児）	可	0人
食物アレルギー（小児）	可	54人
口腔アレルギー症候群（小児）	可	8人
アナフィラキシー（小児）	可	11人
食物依存性運動誘発アナフィラキシー（小児）	可	3人
通年性アレルギー性鼻炎（小児）	可	55人
季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）（小児）	可	48人
アレルギー性結膜炎（小児）	可	48人
薬物アレルギー（小児）	可	0人
昆虫アレルギー（小児）	可	0人
ラテックスアレルギー（小児）	可	0人

備考：新患者とは初診料算定患者を指します

③医療連携等に関する問合せ先

部署名	患者支援・医療連携センター
連絡先電話番号（直通）	03-3433-1111（内線5718）
受付時間	月 火 水 木 金 土 8:30～17:00
その他	休診日を除く

皮膚科系

①アレルギー疾患の検査・治療の状況

検査・治療		対応の可否	実施延数 令和1年
検査	プリックテスト	可	15件
	皮内テスト	可	86件
	パッチテスト	可	80件
	食物経口負荷試験	可	0件
	薬物負荷試験	可	0件
治療	重症のアトピー性皮膚炎を主たる疾患とする入院治療	可	1人
	シクロスポリンの内服による重症アトピー性皮膚炎の治療	可	25人
	ステロイドの内服による重症アトピー性皮膚炎の治療	可	0人
	生物学的製剤を用いた重症じんましの治療	可	11人
	生物学的製剤を用いた重症アトピー性皮膚炎の治療	可	751人

令和2年度 アレルギー疾患対策事業 実績一覧

②疾病名別の診療実績

疾病名	診療の可否	新患者数（総数） 令和1年
アトピー性皮膚炎	可	339人
接触性皮膚炎	可	116人
難治性じんましん	可	195人（注釈1）
スティーブンス・ジョンソン症候群	可	1人
血管性浮腫	可	1人
食物アレルギー	可	15人
口腔アレルギー症候群	可	0人
アナフィラキシー	可	13人
食物依存性運動誘発アナフィラキシー	可	1人
薬物アレルギー	可	4人
昆虫アレルギー	可	0人
ラテックスアレルギー	可	1人
職業アレルギー	可	0人

注釈1：難治性じんましんを含むじんましん全患者数です

備考：新患者とは初診料算定患者を指します

③医療連携等に関する問合せ先

部署名	患者支援・医療連携センター
連絡先電話番号（直通）	03-3433-1111（内線5718）
受付時間	月 火 水 木 金 土 8:30～17:00
その他	休診日を除く

耳鼻咽喉科系

①アレルギー疾患の検査・治療の状況

治療	対応の可否	実施延数 令和1年
粘膜下下鼻甲介（骨）切除術	可	639人
鼻中隔矯正術	可	555人
後鼻神経切断術	可	70人
内視鏡下鼻副鼻腔手術	可	1144人
舌下免疫療法	可	80人
皮下免疫療法	可	200人

令和2年度 アレルギー疾患対策事業 実績一覧

②疾病名別の診療実績

疾病名	診療の可否	新患者数(総数) 令和1年
通年性アレルギー性鼻炎	可	2460人
季節性アレルギー性鼻炎(花粉症)	可	221人
好酸球増多性鼻炎	可	10人
慢性副鼻腔炎	可	1796人
好酸球性副鼻腔炎	可	59人
副鼻腔気管支症候群	可	30人
食物アレルギー	可	4人
口腔アレルギー症候群	可	20人
アナフィラキシー	可	5人
薬物アレルギー	可	10人
昆虫アレルギー	可	5人
ラテックスアレルギー	可	1人
職業アレルギー	可	2人

備考：新患者とは初診料算定患者を指します

③医療連携等に関する問合せ先

部署名	患者支援・医療連携センター
連絡先電話番号(直通)	03-3433-1111(内線5718)
受付時間	月 火 水 木 金 土 8:30~17:00
その他	休診日を除く